

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に係る補足説明資料	補足-340-3【可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料】	補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料	・資料番号の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

黄色：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
目次	目次	目次	
1. 概要	1. 概要	1. 概要	
1.1 可搬型重大事故等対処設備の評価対象設備について	1.1 可搬型重大事故等対処設備の評価対象設備について	1.1 可搬型重大事故等対処設備の評価対象設備について	
2. 可搬型重大事故等対処設備の保管場所における入力地震動	2. 可搬型重大事故等対処設備の保管エリアにおける入力地震動	2. 可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動	
2.1 概要	2.1 保管エリアの入力地震動算定における地盤物性のばらつきの影響	2.1 概要	
2.2 可搬型重大事故等対処設備の保管場所		2.2 可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等	
2.3 保管場所における入力地震動の算定	別紙 2-1 可搬型重大事故等対処設備の保管場所の地震応答解析の相違について	2.3 保管エリア等における入力地震動の算定	
2.4 地震応答 FRS の算定		2.4 地震応答 FRS の算定	
2.5 設計用 FRS の作成		2.5 設計用 FRS の作成	
2.6 加振台の FRS の妥当性確認		2.6 加振台の FRS の妥当性	
3. 車両型設備の耐震評価について	3. 車両型設備の耐震評価について	3. 車両型設備の耐震評価について	
3.1 車両型設備の固縛装置について	3.1 車両型設備の固縛装置について	3.1 車両型設備の固縛装置について	
3.2 評価手順	3.2 評価手順	3.2 評価手順	
3.3 評価条件	3.3 評価条件	3.3 評価条件	
3.4 加振試験	3.4 加振試験	3.4 加振試験	
3.5 構造強度評価	3.5 応力評価	3.5 構造強度評価	
3.6 機能維持評価	3.6 機能維持評価	3.6 機能維持評価	
3.7 波及的影響評価	3.7 波及的影響評価	3.7 波及的影響評価	
3.8 保守性及び不確実さの全体的な釣り合いについて	3.8 保守性・不確実さのトータルバランスについて	3.8 保守性・不確実さの全体的な釣り合いについて	
4. 地震時に固縛装置を展張させないためのたるみの設定方法について	別紙 3-1 車両型設備加振試験への固縛装置の影響について 別紙 3-2 地震時に固縛装置を展張させないための余長の設定方法について	4. 地震時に固縛装置を展張させないための余長の設定方法について	・記載表現の差異
4.1 概要		4.1 概要	
4.2 たるみの定義		4.2 余長の定義	
4.3 たるみの設定		4.3 余長の設定	
5. 車両型設備とアンカープレートとの位置関係について	別紙 3-3 車両型設備とアンカープレートとの位置関係について	5. 車両型設備とアンカープレートとの位置関係について	
5.1 概要	別紙 3-4 加振試験で模擬できていない固縛装置の部材の健全性について	5.1 概要	
5.2 車両型設備とアンカープレートとの位置関係	別紙 3-5 地震波の継続時間の差が車両型設備の耐震評価に与える影響について	5.2 車両型設備とアンカープレートとの位置関係	
6. 地震波の継続時間の差が車両型設備の耐震評価に与える影響について		6. 地震波の継続時間の差が車両型設備の耐震評価に与える影響について	
6.1 概要		6.1 概要	
6.2 車両型設備の耐震評価		6.2 車両型設備の耐震評価	
6.3 結論		6.3 結論	
7. 車両型設備及び固縛装置の仕様について	別紙 3-6 車両型設備及び固縛装置の仕様について 別紙 3-7 加振試験における車両型設備の傾きの計測方法について	7. 車両型設備の仕様について	・女川では固縛装置の連結材の余長を十分に設けることにより地震時に連結材が展張しないため、加振試験時に固縛装置を模擬していない。

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
8. 加振試験における車両型設備の傾き角計測方法について 8.1 概要 8.2 計測方法 9. 設計用FRSに対する車両型設備の加振試験における加振波FRSの裕度について 9.1 概要 9.2 裕度の整理結果 10. その他設備の耐震評価について 10.1 その他設備の加振試験について 10.2 加振試験後の機能維持確認について  別紙1 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器の転倒防止対策について          別紙2 風荷重及び積雪荷重の設定について          別紙3 固有振動数の算出方法について 別紙4 減衰定数の算出方法について	別紙3-8 加振試験における設備評価用FRSに対する加振波FRSの裕度について   4. その他設備の耐震評価について 4.1 その他設備の加振試験について 4.2 加振試験後の機能維持確認について	8. 加振試験における車両型設備の傾き角の計測方法について 8.1 概要 8.2 計測方法 9. 設計用FRSに対する車両型設備の加振試験における加振波FRSの裕度について 9.1 概要 9.2 裕度の整理結果 10. その他設備の耐震評価について 10.1 その他設備の加振試験について 10.2 加振試験後の機能維持確認について          別紙1 車両型設備の固有振動数の測定結果 別紙2 車両型設備の減衰定数の測定結果 別紙3 保管エリア等における地盤特性について	・設計の相違（女川は原子炉補機代替熱交換器ユニットについて、機器の取り外しは行わず他の車両と同様に保管エリアに保管している。また、車両の転倒評価を実施し転倒しないことを確認している。）  ・設計の相違（女川は添付書類「VI-1-1-2-1-1 発電用原子炉施設に対する自然現象による損傷の防止に関する基本方針」に基づき設定している。）  ・資料番号および資料名称の相違 ・設計の相違（プラント毎の保管場所における固有情報）

赤字：設備、運用又は体制の相違点（設計方針の相違）

緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

■：前回提出時からの変更箇所

先行審査プラントの記載との比較表（補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料）

柏崎刈羽原子力発電所第7号機	《参考》東海第二発電所	女川原子力発電所第2号機	備考
(参考資料1) 荒浜側高台保管場所における解析用物性値の設定について (参考資料2) 大湊側高台保管場所における解析用物性値の設定について (参考資料3) 5号機東側保管場所及び5号機東側第二保管場所の解析用物性値について (参考資料4) 地震応答解析における地下水位の設定について (参考資料5) 高台保管場所における入力地震動について			・設計の相違（プラント毎の保管場所における固有情報）